



幹本  
申9号

## 「新潟新幹線車両センター業務執行体制の見直しについて」 にする説明申し入れ」を提出！

JR 東労組は、7月6日「新潟新幹線車両センター業務執行体制の見直しについて」の提案を受けました。

今提案で、これまで専門的に行ってきた各グループが新たなグループに統合され、柔軟な対応が目指された体制が示されました。しかし、これまで各グループを専門的に担うことにより、経験を積み上げ安全のレベルアップを実現し、安定輸送と高品質の車両を提供してきたことから、職場からは「安全レベルの維持・向上はできるのか」「どのような教育を行っていくのか」等、疑問や不安の声が上がっています。

体制見直しの目的として、高品質な車両の提供、効率的な業務運営と社員の成長が目指され、職場の体制のみならず、働き方も変化していきます。この変化に対し、安全・健康・ゆとりを担保し、不安なく業務を行うことで働きがいを向上させることが必要と考え申し入れました。



### 説明項目

1. 「検修技術」「交検」「臨修」の各グループと「検修当直」「駅派出」の各グループを統合する目的を明らかにすること。
2. 「交番担当」の名称を「内勤」に変更する目的を明らかにすること。
3. 各グループの統合による、技術継承と安全レベルの維持・向上する体制をどのように構築するのか明らかにすること。
4. 各グループを統合するにあたり、教育体制を明らかにすること。
5. 技術管理について、現在の課題を明らかにすること。
6. 標準数が12減の根拠を明らかにすること。
7. 体制見直しにあたって、新潟新幹線車両センターにおけるスケジュールを明らかにすること。



職場で議論し声をあげ、働きがいある職場を創り上げよう！